

2019年度 事業計画案

音楽ボランティア派遣事業

○事業の目的と内容

音楽による余暇活動の支援を目的に音楽ボランティアを派遣する。

1施設につき2名～5名がグループを組み、進行者、伴奏者、楽器配布や歌詞の準備をする者など役割分担をして、約45分～60分のプログラムを進める。季節の歌や懐かしい歌などの歌唱、歌やリズムを使った体操、楽器の合奏など主に参加型のプログラムを提供する。

○事業計画

新規の定期・単発の依頼も多い一方、進行や伴奏を担える活動に参加するメンバーが限られているという課題がある。活動に参加はするが、継続はされない場合も多く、継続的に参加してもらえるように促す。

アーティスト派遣事業

○事業の目的と内容

音楽による余暇活動の支援を有償活動で行う。

音楽レクリエーション、演奏家、音楽療法士、音楽講師として、専門的なスキルを有する会員等の派遣を行う。

○事業計画

音楽ボランティア派遣事業で依頼があった場合でもアーティスト派遣事業に移行できるか検討して活動件数の増加を目指す。

ミュージックサロン事業

○事業の目的および本年度方針

音楽の練習を通して参加者の生きがいや居場所をつくりだすとともに、日ごろの練習の成果を地域に還元できるように、社会貢献を目指した音楽活動を行う人材の育成に取り組む。

本年度もチラシ、ホームページ改良、WEBでの発信、イベント参加を中心に広報活動をして会員の増員を図り、更なる事業拡大をめざす。

また、新コース開設にも力を注ぐとともに、space ONZO 事業とも連携し活躍の場を作る。

ポップスコラス（岡崎リトルポップスターズ）

○事業の目的と内容

皆でハーモニーを奏でながら歌うことの喜びを味わってもらうと共に、音楽活動を通しての世代間交流を図る。2018年度で結成5年を迎え、地域の行事や社会福祉施設等の活動も定着し、メンバーのポテンシャルも向上してきている。これからは受講者に地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献を目指した音楽活動をおこなう人材の育成を図る。

○事業計画

- ① 定期的な活動の他に、受講者から提案があれば随時訪問演奏をおこなう。
- ② 訪問演奏のリーダーを受講者が担えるような育成をおこなう。
- ③ WEBでの発信、チラシの配架など、積極的な広報活動をおこない、入会に繋げる。

ゴスペルコーラス（シャイニングスターズ）

○事業の目的と内容

毎月1・3土曜日にレッスンをおこない、ゴスペル音楽を通してメンバー間の交流を促し、音楽の楽しみや喜びを味わうとともに生きがいづくりに貢献する。地域や社会福祉施設の行事に参加することで、地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献につなげる。

○事業計画

- ① 定期的な活動の他に、受講者から提案があれば随時訪問演奏をおこなう。
- ② WEBでの発信、チラシの配架など、積極的な広報活動をおこない、入会に繋げる。

中高年のための歌声教室

○事業の目的と内容

地域の中高年を対象に、参加者によるリクエストを中心に、唱歌や歌謡曲・童謡などの斉唱を楽しんでもらう。また、歌唱を通じた健康づくりにも貢献できるようなプログラムを実施する。参加者同士の交流を図りながら、表現をする喜びを味わうことを目的としている。

○事業計画

- ① チラシを作製し、会場近辺を中心とした関係機関とのつながりを強化、広報を広げる。
- ② 地域のイベント行事等に参加し活動の場を広げる。
- ③ 「仲間づくり、健康づくり、自己表現の場」ととどまらず、今後は「地域の貢献・活性化支援」へと発展させるべく、地域のイベントや施設訪問演奏等の機会を作る。

中高年のためのピアノサロン

○事業の目的と内容

高齢者の孤立が社会問題として挙げられている昨今、誰もが気軽に立ち寄り音楽（レッスン）を通して、クオリティ・オブ・ライフの向上と参加者同士のコミュニケーションを図る。中高年の方々を対象としたオープン型のピアノレッスンで、初心者～経験者まで幅広くジャンルは問わない。月3回（年間30回）。

○事業計画

- ① 生徒募集に向けてWEBでの発信、チラシの配架など、積極的な広報活動をおこない、入会に繋げる。
- ② space ONZOを中心に発表の機会を増やすこととして、会員のモチベーションの向上と広報につなげる。

ポップスコーラスアドバンス

○事業の目的と内容

地域に潜在的に存在するであろう、多少の音楽経験があり、より高度なコーラスを追求した取り組みに参加してみたいと思っておられる方々を対象とする。かつ、生活や仕事のストレスから離れてジャンルを問わずコーラスを楽しめる時間を提供する。地域の行事や社会福祉施設等で練習の成果を発表するとともに、受講者に地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献を目指した音楽活動をおこなう人材の育成を図る。

○事業計画

- ① 随時訪問演奏、イベント参加をおこなう。
- ② WEBでの発信、チラシの配架など、積極的な広報活動をおこない、入会に繋げる。

こどもコーラス Comodo

○事業の目的と内容

小中学生を対象に、子どもたちのプリミティブな音楽への欲求をどんどん活かして楽しめる、「ひとりひとりが輝くコーラス」をめざす。ジャンルをまたいで、それぞれの曲に存在する美しさや楽しさを、子ども達の持って生まれた感性を大切に、歌や楽器演奏に取り組む。ひいては、子ども達ひとりひとりの居場所づくりとなることも目的とする。地域の行事や社会福祉施設等で練習の成果を発表するとともに、受講生たちに地域と触れ合う機会と、社会貢献を目指した音楽活動経験を提供する。

○事業計画

- ① 保護者の方向けの小さな発表会や、訪問演奏、イベント参加なども随時おこなう。
- ② WEBでの発信、チラシの配架など、積極的な広報活動をおこない、入会に繋げる。

space ONZO 事業

貸館

○事業の目的と内容

space ONZOの4部屋を貸館として利用者を募る。幅広い目的のために利用してもらうとともに、space ONZOの事業内容、ひいては音の風の事業内容への地域の方々の理解と参画に繋げる。

○事業計画

- ① 基本的には平日の10:00~16:30の稼働となるが、土日や夜間の利用希望があれば随時対応する。
- ② WEBでの発信、チラシの配架など、積極的な広報活動をおこない、定期的な利用者を募る。
- ③ 音の風会員には利用料金を2割引きとする。

主催イベント

○事業の目的と内容

地域の方々にクオリティの高い音楽を届けるためのイベントや、ミュージックサロンのミニ発表会、もしくは単発の講座など、広くspace ONZOを知っていただくための機会を定期的に企画する。「音楽」の枠を外しての、他ジャンルのイベントも積極的におこなう。

○事業計画

- ① 1~2か月に1回程度、講師をまねき、気軽に参加できる単発の講座等を開く(有料)。
- ② ミュージックサロンの各講座に、1階salonを利用しての発表の機会を提案する。

スマイルミュージックフェスティバル事業

○事業の目的と内容

「障がいのある方もない方もともに音楽を楽しむイベント」として、東山区内の4つの機関(音の風、東山区社協、らくとう、東山青少年活動センター)で実行委員会を構成し運営を行う。

○事業計画

- ① 地域に飛び出せプロジェクト
- ② 福祉教育&笑顔の絵
地域の小学校への福祉教育実施予定。笑顔の絵のポスター展を開催する。
- ③ スマイルミュージックフェスティバル

3月1日（前日準備2月29日）、財源確保の見通しがついた時点で実行委員会にて開催を決定する（人権啓発活動補助金申請予定。）

岡崎いきいき市民活動センター

2011年からの指定管理も2期4年目になり実績も積み重ねてきた。平成30年度は3期目の指定管理者の選定に向けて準備を進めた。事業では、障がいのある人との芸術活動に関しても注目し、6月23日と24日にはOKAZAKILOOPS PARK STAGEでのパフォーマンスをコーディネートした。○大学学生連携事業：岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ(継続) ○高齢者交流事業：岡崎歌声クラブ(継続)、中高年のためのピアノサロン(継続) ○地域交流連携事業：京都岡崎ハレ舞台スペシャルパレードで盛り上がる(新規)、わいわい文化祭(継続)、復活：センター生まれ変わり大作戦(新規)、岡崎ガーデン倶楽部V(継続) ○市民活動支援事業：岡崎いきいきサークル活動紹介(継続)、岡崎いきいき紹介月間&チラシ講座(継続)

事務局

○事務局スタッフの補強

音の風事務局の仕事は幅広く、基本的な事務作業に加えて、音楽と地域をむすぶコーディネーターとして、更に音楽事業の企画立案、各種報告書作成のスキルを要するため、事務局員のスキルアップを行う。作業の整理を行い、業務を効率化する。

○実施計画

- ① ホームページやフェイスブック投稿の事務局内のルール作成を検討し、定期的な更新を行う。
- ② スケジュールリングを進め作業の効率化を図る。
- ③ 2019年度の目標は現会員数110名から5名増加の115名とする。

2019年度役員・人員体制

○2019年度役員

代表理事 西野桂子、副代表理事 岡本芳孝 理事 國領亜由美、滋野浩毅、木下裕史、馬場雄二
監事 庄林幸士

○事務局体制

スタッフ 藤野正弘、西野桂子、引地尚子、前滝康彦、森亜紀、山下サトシ
アドバイザー 小野貴志

○岡崎いきいき市民活動センター職員体制

センター長 西野桂子

常勤職員 曾和泉 齋藤真人

非常勤職員 藤野正弘、前滝康彦、岡田美智子、長尾操、伊藤康治、山尾優子、高見美智子

会員交流

○目的と内容

会員間の親睦を目的として開催する。

○実施計画

会員の主体的な提案に基づき交流会を開催する。